

旭川工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	英語講読
科目基礎情報					
科目番号	0056		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	応用化学専攻		対象学年	専2	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	Readings in Science in association with Nature (Yuji Suzuki 著、南雲堂)				
担当教員	水野 優子				
到達目標					
1. 科学技術に関する情報や論旨について、記述および口頭による説明を理解し、またそれを行う。 2. 科学技術分野特有の語彙を身につけ、基本的な語彙については定義を英語で理解する。 3. 英文をととして科学技術に関するさまざまな見識を広め、自分の意見を英語でまとめることができる。 4. 記述と口頭説明による英語の正確な理解を積み重ね、TOEICスコア400点相当の力を身につけることができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1 (B-2, C-2, C-3)	科学技術に関する情報や論旨について、記述および口頭による説明を理解し、自らも説明ができる。		科学技術に関する情報や論旨について、記述および口頭による説明をほぼ理解し、自らもある程度説明することができる。		科学技術に関する情報や論旨について、記述および口頭による説明を理解できず、自ら説明することができない。
評価項目2 (B-2, C-2, C-3)	科学技術分野特有の語彙を多く身につけ、基本的な語彙については定義を英語で理解することができる。		科学技術分野特有の語彙をおおむね身につけ、基本的な語彙の定義をある程度英語で理解することができる。		科学技術分野特有の語彙の定着が足りず、基本的な語彙についての定義を英語で理解することができない。
評価項目3 (B-2, C-2, C-3)	英文をととして科学技術に関するさまざまな見識を広め、自分の意見を英語でまとめることができる。		英文をととして科学技術に関するさまざまな見識を広め、自分の意見を英語である程度まとめることができる。		英文をととして科学技術に関する見識を広めることができず、自分の意見を英語でまとめることができない。
評価項目4 (B-2, C-2, C-3)	記述と口頭説明による英語の正確な理解を着実に積み重ね、TOEICスコア400点以上の力を身につけることができる。		記述と口頭説明による英語の正確な理解を積み重ね、TOEICスコア400点相当の力を身につけることができる。		記述と口頭による英語の正確な理解の積み重ねが不十分であり、TOEICスコア400点相当の力を身につけることができない。
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 (応用化学専攻の教育目標) 学習・教育到達度目標 (専攻科の教育目標) JABEE B-2 JABEE C-2 JABEE C-3 JABEE基準 (a) JABEE基準 (f)					
教育方法等					
概要	さまざまな分野における科学技術研究について書かれた英文について、トピック・センテンスやパラグラフ構成に注意して記述内容を正確に読み取ることや、論旨の口頭による説明を理解することで、TOEIC400点相当の力を養うことを目指す。また、科学技術英語に多く用いられる語彙、表現・文体に習熟することを目指す。				
授業の進め方・方法	科学雑誌Natureのウェブサイト記事を原文のまま採用した教材を使用しながら、科学技術分野の英文に対し内容理解を深める。教科書の練習問題に加え、「要約」、「パラフレーズ」などの活動を通して読解力の養成を図る。また、スピーキング、リスニングおよびライティングによる英語での質疑応答といった、コミュニケーション活動の演習も取り入れる。				
注意点	・ 予習を必須とし、単語・熟語などの意味を確実に調べ、理解できない点を明らかにしてから授業に臨むこと。パラグラフ構成の理解が足りなければ本当に英文を理解することにはつながらない。「語・句・文レベル」ではなく「パラグラフレベル」で因果関係・仮定・結論・考察などの理解に努めること。本科目開講期にTOEIC400点以上を取得した場合には、10点を上限に最終成績に加点する。すでに400点以上を取得している学生は、当該期に50点以上の得点の伸びがあった場合に、10点を上限に加点する。 ・ 教育プログラムの学習・教育到達目標の各項目の割合はB-2(10%) C-2(20%) C-3(70%)とする。 ・ 総時間数90時間 (自学自習60時間) ・ 自学自習時間 (60時間) は、日常の授業のための語彙の予習・復習、内容理解のためのリーディング、および課題、小テスト、定期試験の準備に充てる学習時間を総合したものとす。 ・ 評価については、合計点数が60点以上で単位修得となる。その場合、各到達目標項目の到達レベルが標準以上であること、教育プログラムの学習・教育到達目標を満たしたことが認められる。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Orientation Unit1 Babies learn to babble like birds learn to sing	・ 学習目標、学習方法について理解する。 ・ 人間の赤ちゃんや鳴禽の習得方法を比較した英文を読み、素早く要点を見つけ出したり、必要な情報を取捨選択することができる。英文で使用された重要語 (句) を定着させることができる。	
		2週	Unit 1 Babies learn to babble like birds learn to sing	・ 人間の赤ちゃんや鳴禽の習得方法を比較した英文を読み、素早く要点を見つけ出したり、必要な情報を取捨選択することができる。英文で使用された重要語 (句) を定着させることができる。	
		3週	Unit 4 Baseball players reveal how humans evolved to throw so well	・ 人間が投げる時に優れた能力を発揮できる仕組みに関する英文を読み、素早く要点を見つけ出したり、必要な情報を取捨選択することができる。英文で使用された重要語 (句) を定着させることができる。	
		4週	Unit 4 Baseball players reveal how humans evolved to throw so well	・ 人間が投げる時に優れた能力を発揮できる仕組みに関する英文を読み、素早く要点を見つけ出したり、必要な情報を取捨選択することができる。英文で使用された重要語 (句) を定着させることができる。	
		5週	Unit 5 Huge cancer study uncovers 74 genetic risk factors	・ 癌の遺伝的リスク要因に関する英文を読み、素早く要点を見つけ出したり、必要な情報を取捨選択することができる。英文で使用された重要語 (句) を定着させることができる。	

		6週	Unit 5 Huge cancer study uncovers 74 genetic risk factors	・癌の遺伝的リスク要因に関する英文を読み、素早く要点を見つけ出したり、必要な情報を取捨選択することができる。英文で使用された重要語（句）を定着させることができる。
		7週	Unit 7 3-D printed windpipe gives infant breath of life - [1]	・3Dプリントされた気管に関する英文を読み、素早く要点を見つけ出したり、必要な情報を取捨選択することができる。英文で使用された重要語（句）を定着させることができる。
		8週	中間試験	
	2ndQ	9週	Unit 7 3-D printed windpipe gives infant breath of life - [1]	・3Dプリントされた気管に関する英文を読み、素早く要点を見つけ出したり、必要な情報を取捨選択することができる。英文で使用された重要語（句）を定着させることができる。
		10週	Unit 8 3-D printed windpipe gives infant breath of life - [2]	・3Dプリントされた気管に関する英文を読み、素早く要点を見つけ出したり、必要な情報を取捨選択することができる。英文で使用された重要語（句）を定着させることができる。
		11週	Unit 8 3-D printed windpipe gives infant breath of life - [2]	・3Dプリントされた気管に関する英文を読み、素早く要点を見つけ出したり、必要な情報を取捨選択することができる。英文で使用された重要語（句）を定着させることができる。
		12週	Unit 9 Pilot projects bury carbon dioxide in basalt	・二酸化炭素を玄武岩に埋めるパイロットプロジェクトに関する英文を読み、素早く要点を見つけ出したり、必要な情報を取捨選択することができる。英文で使用された重要語（句）を定着させることができる。
		13週	Unit 9 Pilot projects bury carbon dioxide in basalt	・二酸化炭素を玄武岩に埋めるパイロットプロジェクトに関する英文を読み、素早く要点を見つけ出したり、必要な情報を取捨選択することができる。英文で使用された重要語（句）を定着させることができる。
		14週	Unit 10 Disputed results a fresh blow for social psychology	・知能ブライミング効果の再現の失敗によって引き起こされた論争に関する英文を読み、素早く要点を見つけ出したり、必要な情報を取捨選択することができる。英文で使用された重要語（句）を定着させることができる。
		15週	Unit 10 Disputed results a fresh blow for social psychology	・知能ブライミング効果の再現の失敗によって引き起こされた論争に関する英文を読み、素早く要点を見つけ出したり、必要な情報を取捨選択することができる。英文で使用された重要語（句）を定着させることができる。
		16週	期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	4	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	4	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	4	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	4	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	4	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	4	

評価割合

	試験	小テスト	課題	コミュニケーションに対する積極性	合計
総合評価割合	65	15	15	5	100
基礎的能力	60	15	10	5	90
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	5	0	5	0	10